

会場整備基本計画  
(空間のデザイン)

# 1. 会場整備の基本的方向性

## 1-1. メイン会場となる愛・地球博記念公園の現状と基本構想からの修正課題

### (1) 愛・地球博記念公園の概要

#### 1) 場所

・愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1

#### 2) 公園種別

・広域公園

#### 3) 面積

・都市計画公園面積 194.2ha

・供用面積 149.1ha(平成 25 年 11 月 30 日現在)

#### 4) 法規制

・都市計画法 市街化調整区域

・都市計画法 事業認可区域

・砂防法 砂防指定地

・宅地造成工事等規制法 宅地造成工事規制区域

・森林法 地域森林計画対象民有林(一部)

・防火地域 指定なし

・建築基準法第 22 条区域内(建築物の屋根など不燃材料使用)

#### 5) 既存建築物(地球市民交流センターH22 まで)

・建築物の数 95

・建築面積 41310.94m<sup>2</sup>

・建蔽率 2.03%(敷地 1942249.79m<sup>2</sup>)

・延べ面積 47929.45m<sup>2</sup>

・容積率 2.47%(敷地 1942249.79m<sup>2</sup>)

### (2) 愛・地球博記念公園の歴史

表V-1 愛・地球博記念公園の歴史(各施設は開設年度を示す)

1970年(昭和45年)	愛知青少年公園開園(11月1日)
1981年(昭和56年)	国際児童年記念館(7月4日)
1994年(平成6年)	温水プール・アイススケート場(11月16日)
1996年(平成8年)	児童総合センター(7月24日)
2000年(平成12年)	博覧会会場として決定
2002年(平成14年)	閉園(4月1日) 広域公園として都市計画決定(9月27日)
2005年(平成17年)	国際博覧会「愛知万博」開催(3月25日～9月25日)
2006年(平成18年)	愛・地球博記念公園 第1期開園(7月15日)
2007年(平成19年)	愛・地球博記念公園 第2期開園(3月25日)
2007年(平成19年)	愛・地球博記念公園 追加開園(10月1日)
2008年(平成20年)	愛・地球博記念公園 追加開園(4・5月)

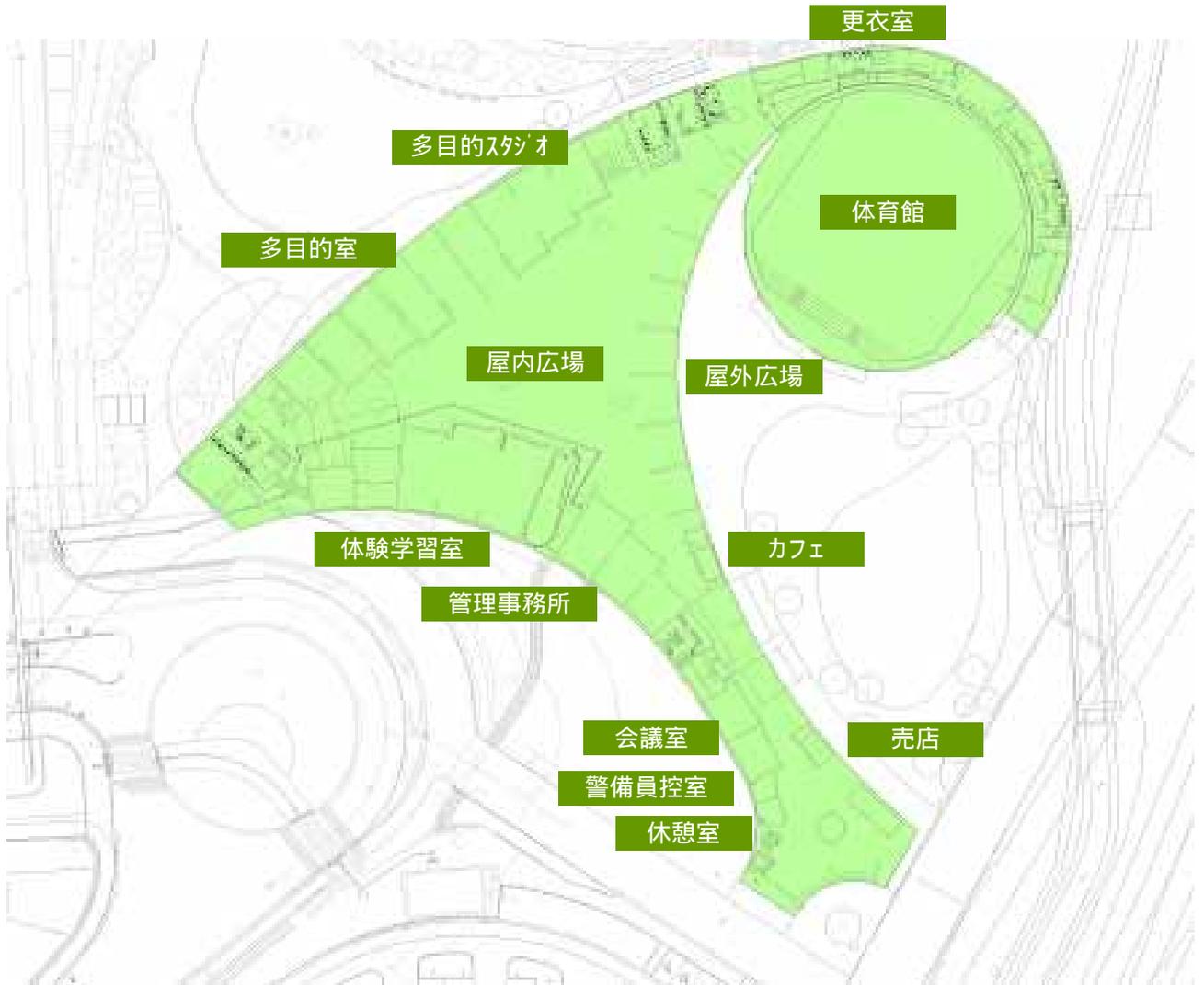
### (3) 愛・地球博記念公園の現況

- ・愛・地球博記念公園の計画図は、以下の通りである。
- ・愛知万博で整備された施設が残り、万博 10 周年記念となるあいちフェアでは、その連携に十分配慮する必要がある。
- ・公園のエントランスは、愛・地球博記念公園と駐車場がある北口と、駐車場のある西口がある。多客日には西口からの来園者の入場も多い状況である。

#### 愛・地球博記念公園 基本計画図



図 V-1 愛・地球博記念公園平面図



図V-2 地球市民交流センター平面図

#### (4) 愛・地球博記念公園の整備計画

- ・あいちフェア開催前に、大芝生広場に大規模なコンサートが可能なステージが整備される予定である。
- ・あいちフェアの施設整備、花壇整備との調整を十分図る必要がある。
- ・リニモの公園西駅からのアクセス動線が改善され、愛知県児童総合センターやこどものひろば等へのアクセス性が良好となる。あいちフェアのアクセス動線として配慮する必要がある。

#### (5) 基本構想の修正課題

##### まちのエリアの機能を分散配置

- ・基本構想のまちのエリア内の北東部には、ステージが整備される予定である。これにより、まちのエリアの半分以上がステージと観客スペースとなり、残る利用できる区域は大芝生広場の人工芝のエリアだけとなる。そのため、まちのエリアで展開していた機能を公園内に分散する必要がある。

##### 多客に対応できる動線の見直し

- ・大芝生広場へのアクセスは、大多数の来園者がエレベーターを利用している。エレベーター（2機）の輸送能力は限られ、あいちフェア開催中の多客に対応できない。そのため、主動線の形態を見直し、あいちフェアの多客に対応できる動線を検討する必要がある。

##### 西口方面からの入場者に対する修景

- ・あいちフェアの開催時には、臨時駐車場の整備も行うため、西口からの入場も多くなることが考えられる。そのため、西口からの入場者に対してもエントランス部からあいちフェアの雰囲気を感じられる修景を検討する必要がある。

## 1-2. 会場づくりの基本的な考え方

### (1) 会場ゾーニングの考え方

#### 回遊性のあるループ状の既存園路沿いに、愛知万博のようにエリアを配置

- ・愛知万博では、丘陵に刻まれた谷の地形に対応して、グローバルループ(約 2.3km)とコモンの構成により、会場の骨格が形成された。
- ・愛知万博の思い出を大切にしたいあいちフェアとするためには、愛知万博で親しまれた骨格形状を踏襲することが望ましい。
- ・愛知万博の土地利用を踏襲し、計画地の谷と丘陵部に応じて配置された施設分布と、新たにループ状に整備された回遊性のある既存園路は、愛知万博で親しまれた回遊性のある骨格に近い形態である。
- ・そのため、あいちフェアでは、回遊性のある園路沿いにクラスター状にエリアが分布する骨格構成とする。
- ・この骨格構成により、あいちフェアの多客に対応できる。
- ・ループ状の既存園路は、約 1.8kmの距離があり、来園者の利便性を考慮し、愛知万博のような補助的な輸送手段(グローバル ترام・自転車タクシー)の導入を検討する。

表V-2 愛知万博時の歩車共存の輸送システム

歩車共存の乗り物	速度	料金
グローバル ترام	5km/時	大人子供 500 円
自転車タクシー	5km/時	大人 300 円 子供 200 円

- ・エントランスとしては、公共交通機関であるリニモの愛・地球博記念公園駅、公園西駅、及び既存駐車場の配置を踏まえ、北エントランス(愛・地球博記念公園駅・北駐車場)、西エントランス(西駐車場、南駐車場)の2つをメインエントランスとする。
- ・サブエントランスとして新設される公園西駅エントランス(仮称)(公園西駅付近)とする。

表V-3 エントランスの構成

エントランス名	場所	主要な園外交通
北エントランス	リニモ 愛・地球博記念公園駅 周辺	リニモ 北駐車場 臨時駐車場 バス(シャトル)
西エントランス	西駐車場周辺	西駐車場 南駐車場 臨時駐車場
公園西駅エントランス(仮称)	リニモ西公園駅周辺	リニモ

#### 愛・地球博記念館や花の広場など、万博や花に関係する既存施設を活用

- ・愛知万博に関わる既存施設や花に関わる施設等の既存施設を活用する。
- ・整備するエリアは、既存のループ園路及びそこにクラスター状に分布するエリアとする。
- ・周辺の公園施設は、大々的な整備は行わないが、催事等の場として活用する。

#### 各エリアでは、愛知の風土や自然環境を感じさせる演出

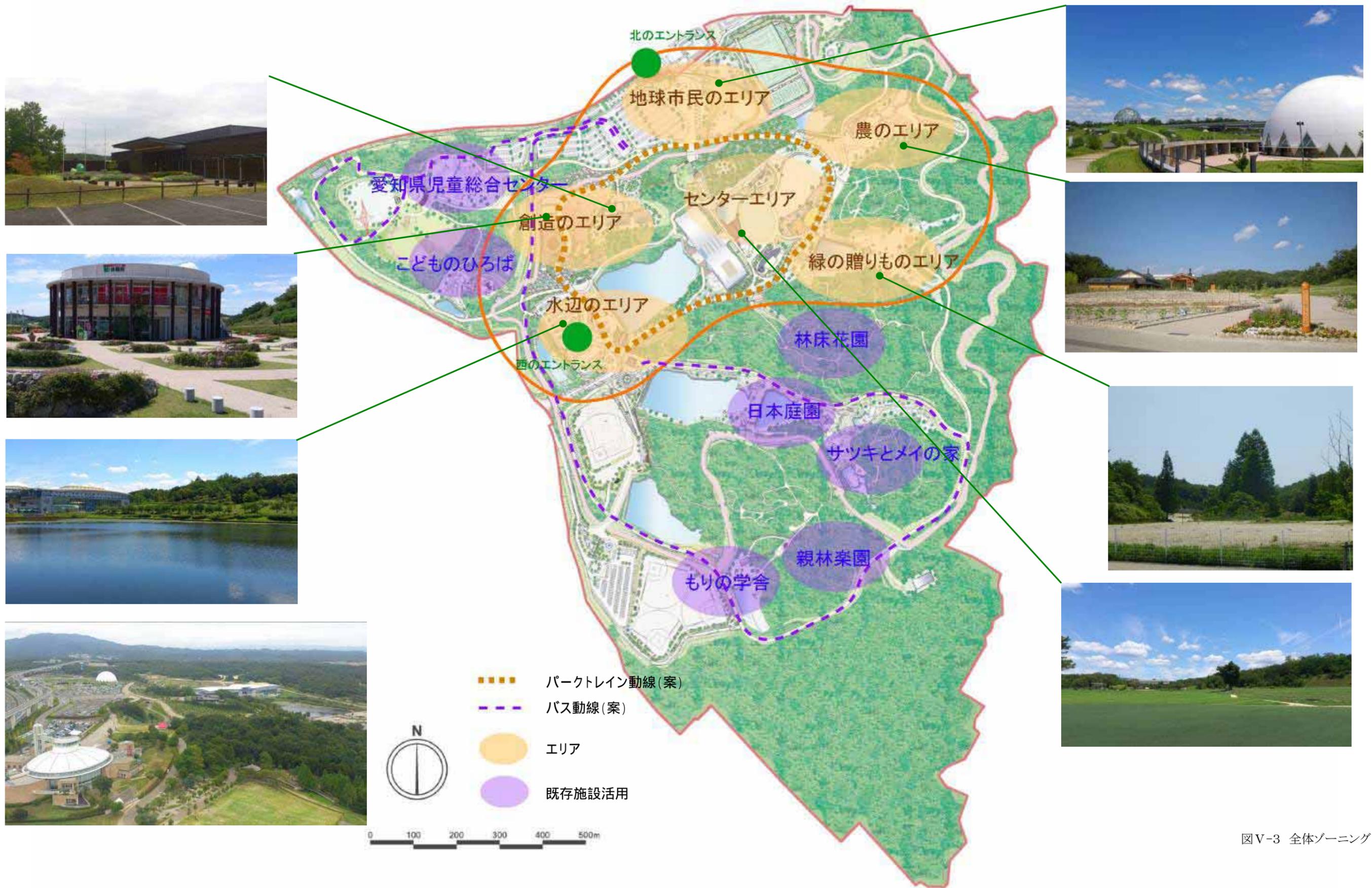
- ・フェアに合わせて整備する各エリアは、愛知の風土や自然環境の特徴を感じさせる演出等を考慮する。

## (2) エリアのゾーニング

- 基本構想の「学びのエリア」「里の体感エリア」「緑の劇場エリア」は、基本計画でもゾーニングを踏襲する。
- 「里の体感エリア」では、里山を含めた整備展開が示されていたが、既存の里山において、自然環境を保全しながら、適切なコスト投資でバリアフリーの整備を行うことが難しいため、整備エリアとしては含まない。
- 「まちのエリア」は、新設ステージの活用を十分に図ること及び休憩スペースの確保等を優先する。そのため、基本構想時の展開イメージに提示されていた内容の一部を、こいの池周辺に「水辺のエリア」、花の広場周辺に「創造のエリア」を設ける。これは、ループ状の既存園路の回遊性を高める効果もある。

表V-4 基本構想と基本計画のゾーニングの関連

基本構想		基本計画
学びのエリア	講習会や教室等の催事 「緑」や「環境」の展示 シンポジウム等	地球市民のエリア
里の体感エリア	里地の活動空間を利用した催事や里の風景に馴染む展示 里山林内を使用した多様な主体による展示や催事	農のエリア
緑の劇場エリア	質の高い「緑」の演出や「緑」と異分野のコラボレーション等 「緑」	緑の贈りものエリア
まちのエリア	多彩な「緑」が展開する「緑のまち」 飲食物販サービスの提供	センターエリア
		水辺のエリア
		創造のエリア



図V-3 全体ゾーニング

### 3) エリアの展開方針

・各エリアでは、以下のような展開を図る。

表 V-5 エリアの展開方針

エリア	展開方針
地球市民のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内外の催事や展示を展開</li> <li>・環境、花等様々なテーマによる催事展開</li> <li>・エントランスとしての景の演出</li> <li>・運営本部機能を設置</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
農のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知の農、自然を魅せる展示の展開</li> <li>・愛知の農に関する催事の展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
緑の贈りものエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然への想いを込めた、こども達への贈りものとなる庭を展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
水辺のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県、政令市等による出展の庭を展開</li> <li>・企業、団体による出展の庭を展開</li> <li>・エントランスとしての景の演出</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
創造のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の創造の庭を展開</li> <li>・学生による出展催事を展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
センターエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ催事の展開</li> <li>・休憩飲食の拠点として展開</li> <li>・あいちの花の展示即売等の展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>